

令和元年 5 月 27 日

平成 30 年度の事業報告

社会福祉法人つつじの福祉会
理事長 大山 守 ㊞

社会福祉事業

I 第一種福祉事業

1 特別養護老人ホームの経営

平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日まで）における「地域密着型小規模特別養護老人ホームはぎの郷」の運営については、実質的第 1 期に相当し、年度の上半期は入居者数を早期に満床にすること及び理念（「これからも あなたが あなたらしく暮らせるように・・・」）に基づく入居者支援が実践できるよう、職員とともに走りながら考え、その達成に取り組みました。

年度の後半期においては、各ユニットリーダーを中心に、ユニットケアのあるべき姿を指向し、職員の入居者支援のサービスの質の向上も図りながら入居者支援（チームケア：多職種連携による入居者支援）に取り組む※、入居者及びご家族からは、感謝並びに労いのお言葉をいただいております。

財務・資金面については、実質的第 1 期であるため赤字での運営となり、第 4 四半期においては、サービスに質の低下を招かないよう留意しながら、人件費比率の削減（前四半期より 6 ポイント減少）を図りました。

※ 月例での全体会議において、各ユニットの情報を共有し、課題については専門職（看護職・栄養士・介護支援専門員・生活相談員他）の意見も参考に検討し、改善策等立案しながら取り組み、また、各種委員会（身体的拘束等委員会、感染症対策委員会、行事委員会、給食委員会等）を発足させ、現場の介護職員も運営面に参画できるよう図り、総合力でのサービスの質向上にトライしました。